

# COMPASS



学校法人 産業医科大学

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
TEL/093-603-1611(代表)



事業代表 学長  
上田 陽一

## ご挨拶

令和5年度にスタートしました学生支援プログラム「将来のキャリア形成学生支援」の3年目(最終年度)が終了します。今回の学生支援プログラムは、卒業後の「キャリア形成プログラム」にシームレスに繋がるような具体的な支援内容となるように配慮されていました。

特に今年度は、1年次学生全員が一堂に会して産業医一日密着体験に参加した3組6名の1年次学生による成果報告を聴講することで体験を共有しつつ、お世話になった専属産業医の先生方々に会場でコメントしていただく「学生支援フォーラム」を実施することができました。本プログラムを開始した当時、同様の形式のフォーラムを開催したことはありましたが、久しく実施されておらずその実現を念願していました。学生の皆さんの発表は、パワーポイントを駆使して体験をもとにした臨場感あふれる素晴らしい発表でした。フォーラムには、産業医学現場実習でお世話になる5年次学生の皆さんも参加し、フォーラム後に学生食堂に移動しての昼食会ではいろいろな話題で盛り上がりました。1年次学生30名は、昼食後にホテルクラウンパレス(黒崎)に移動して専属産業医・産業医経験教員との会話を体験し、とても充実した週末となりました。

次期の学生支援プログラムでも魅力的な内容が引き継がれていくことを期待します。最後になりましたが、実施に際しまして多くの教職員の皆様、学内外の皆様にご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



医学部長  
酒井 昭典

## 3年間の「将来のキャリア形成学生支援」を終えるにあたり

学生支援事業「将来のキャリア形成学生支援」は令和5年4月からスタートし、令和8年3月をもって終了いたします。この3年間、関係各位からあたたかいご支援を賜り、計画通りに実施することができました。本事業は、大学の講義室や実験室では得られない、社会で活躍するのに役立つ基本的かつ実践的な能力を涵養する人材育成事業です。その内容は「仕事力×キャリア・オリエンテーション」「人間力×キャリア・ベーシックス」「発信力×キャリア・コミュニケーション」の3本柱から構成されています。

医師としてのプロフェッショナルリズムに求められるものは、社会的使命への貢献、倫理・道徳、多様な価値観の受容と公正性への配慮、専門性の追求と生涯学習などです。これらは、病気の勉強だけをしていても身につけません。医師が向き合うのは「病気」ではなく「人」です。本事業を通じて、人への思いやり、人の多様性に対する寛容さを身につけること、コミュニケーション能力を磨くことなどに役立ったことと思います。

学生は、この事業のプログラムである1日産業医密着体験、産業医オフィス訪問、少人数のグループに分かれての産業医経験教員との懇談会などを通じて、産業医の実際を詳しく知ることができました。マナー講座、アクティブラーニングの実践、クリニカル・シミュレーション・ラボの活用などを通じて、社会性や発信力が身につきました。将来の具体的なキャリアパスをイメージすることができたと、学生からは好評でした。

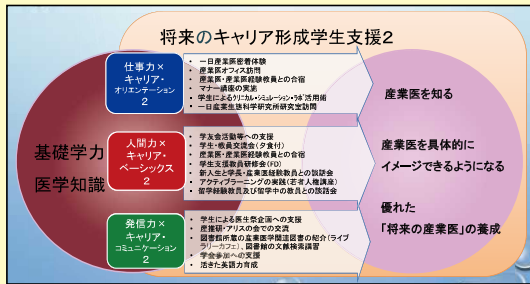
末筆ながら、本事業を支援してくださった卒業生や教職員、関係者の皆様にご心から御礼申し上げます。

## 令和8年度より 学生支援事業「将来のキャリア形成学生支援2」(3つのキャリアプラン2)」が新たにスタートします

学生支援プログラムは、文部科学省から選定された「大学と企業の連携で育成する統合学生支援」プログラム(平成20年~23年度)に始まり、優れた「将来の産業医」養成のため、継続的にプログラムの見直しを図りながら実施してきました。平成29年度~令和元年度は「新しい学生支援+」、令和2年度~4年度は「新しい学生支援+α」を実施し、令和5年度からは「将来のキャリア形成学生支援」が始まり、令和7年度で終了しました。

そして、令和8年度からは、現プログラムをブラッシュアップした学生の将来のキャリアを見据えた学生支援「将来のキャリア形成学生支援2」として、更なる充実を図ります。

「将来のキャリア形成学生支援2」(3つのキャリアプラン)概念図



### I 仕事力×キャリア・オリエンテーション2

- ◆どのような人々(労働者)がどのような環境で仕事をしているのか、現場を知る(現場力)
- ◆労働者の健康管理を行う上で何が課題となっているのか、課題を明らかにする力を養う(課題探索力)
- ◆社会人として求められるものを身につける(社会人基礎力)

### II 人間力×キャリア・ベーシックス2

- ◆将来、チームで働くためのコミュニケーション能力を身につける(コミュニケーション力)
- ◆学生としての健全な生活習慣を身につける(持続力)
- ◆メンタルヘルス対策として学生支援体制を強化する(学生支援力)

### III 発信力×キャリア・コミュニケーション2

- ◆何事にも当事者意識を持ち、主体的な行動ができる(行動力)
- ◆対外的な場で情報や人との繋がりを得ることができる(対人関係力)
- ◆自分の考えを適切に相手に伝える力を磨く(自己表現力)
- ◆情報を収集する力を養う(情報収集力)

## 評価委員会を開催しました。

学生支援事業「将来のキャリア形成学生支援」の最終年度にあたり、これまでの3年間の取組について評価をいただくため、図書館視聴覚室にて評価委員会を開催しました。

学生支援プログラム責任者である佐藤学生部長から3年間の活動報告及び令和8年度以降の学生支援事業「将来のキャリア形成学生支援2」について報告がありました。



### 評価結果

各評価委員から以下のとおり質問があり、事務担当から回答があった。

- ・企業訪問には多くの学生に参加してもらいたい方が、人数制限はあるのか。  
→プログラム参加の割振りを行っている際に人数を予め決めている。また、コロナ時に産業医オフィス訪問において、企業側の入室に際しての人数制限があったことはある。
- ・マナー講座にアンケートがないので、実施した方がいいのではないかと。→実施する。
- ・メールで案内を受けて申し込みをすることにハードルを感じる学生は多いと思う。メールは学生にとって主の連絡ツールではなくてはならない。各学年にLineで通知する方が身近に感じると思う。  
→学年代表に対応依頼することを検討する。

さらに、各評価委員から以下のような意見があげられた。

- ・参加申込に過去に実施した報告(URL)を入れること。
- ・入試の広報にも本プログラムの内容を入れること。
- ・教職員等にもSNSを活用して情報共有することを検討する必要があること。
- ・図書館サポーターのように学生にプログラムサポーターとして担当してもらうこと。

等の広報や連絡の仕方について、SNSを活用することが重要であるとの意見が多数あった。



### 採点結果

評価項目	評価平均
1. 本取組の趣旨・目的について	4.8
2. 本取組の独自性について	4.6
3. 本取組の有効性・効果について	4.6
4. 本取組の改善・評価について	4.4
5. 本取組の実施計画・将来について	4.0
6. 本取組の発展について	4.0
7. 総合評価	4.2

- 5: 高く評価できる
- 4: 十分評価できる
- 3: 評価できる
- 2: やや不十分である
- 1: 不十分である
- 0: 評価できない

日時/令和8年3月2日(月)18:00~19:00  
場所/大学2号館1階視聴覚室(2102室)

- ◆評価委員長 丸山 崇(第1生理学 教授)
- ◆評価委員 坂口 怜子(生体物質化学 講師)
- 磨井 章智(産業医科大学後援会 会長)
- 顧 佩壺(九州大学 キャンパスライフ健康支援センター)
- 河野 健太(学友会 会長)
- ◆プログラム責任者 佐藤 寛見(学生部長)



# 仕事力×キャリア・オリエンテーション

## マナー講座

日時/令和7年7月24日(木) 14:45~15:45  
場所/大学本館6号館1階 6107講義室  
参加者/1年次生 103名



7月24日(木)に医学部新入生を対象にマナー講座を開催しました。講師に株式会社アソウ・ヒューマニティーセンター教育事業部 講師 大隈 多恵先生をお招きし、身だしなみや言葉遣い、お辞儀の仕方等企业訪問や学会へ出席する際のビジネスマナーをご指導していただきました。

## 学生支援GPフォーラム

日時/令和7年9月20日(土) 11:00~13:30  
場所/大学本館6号館1階 6107講義室、学生食堂  
参加者/学長、卒業生産業医12名、  
医学部1年次生101名、  
4年次生1名、5年次生17名

9月20日(土) 11時から大学6号館1階6107講義室において学生支援GPフォーラムを開催しました。今回のフォーラムには、産業医として活躍されている12名の卒業生にご出席いただき、医学部1年生全員、また、お越しいただいた先生方の企業を訪問した4年生及び現場実習で訪問する予定の5年生も参加しました。まずは、上田学長によるご挨拶があり、1年生6名が「一日産業医密着体験」で訪問した3か所の事業所における体験を発表し、学生訪問を受け入れていただいた3名の先生方(三菱ケミカルグループ(株)真鍋先生、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)丸山先生、(株)リコー(清本先生)にコメントをいただきました。その後、医学部同窓会宮本会長、産業医学推進研究会西会長、アリスの会大津会長よりそれぞれの会のご紹介をしていただき、最後に学長から企業訪問にて学生を受け入れていただいた3名の先生方に感謝状の授与を行いました。学生食堂に移動し、昼食を取りながらの懇親会を開催し、卒業生と学生が交流を深めることができました。



### 参加した学生の感想

- ・産業医のスケジュールなどを体験した話を聞いて、産業医への理解が深まりました。
- ・普段の講義では聞けないことを知ることができた。
- ・とても発表がしっかりしていた。自分も体験したような気持ちになった。

## 一日産業医密着体験

日時	訪問先	参加者
令和7年8月21日(木)	三菱ケミカル株式会社 広島事業所(広島県)	2名
令和7年8月21日(木)	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 熊本テクノジーセンター(熊本県)	2名
令和7年8月26日(火)	株式会社リコー(東京都)	2名

自らの産業医像の構築に役立てることを目的とした「一日産業医密着体験」を実施しました。1年次生6名が2名1組となって3企業を訪問し、訪問先では産業医として働く先生方に一日密着し、職場巡視や面談の見学等を行い産業医への理解を深めるよい機会となりました。10月11日(土)開催の第43回産業医科大学学会においてポスター発表をしました。

### 参加した学生の感想

- ・先生方の姿を目の当たりにして紙ではわからなかったことをたくさん学ぶことができました。当事者だけでなく関わる全ての人の先を見通して動かしていくところなど、とても奥が深くおもしろい仕事だなと思いました。
- ・実際に産業医の先生の業務に密着したり、お話を伺ったりすることで、産業医への熱がさらに深まりました。



## 産業医・産業医経験教員との合宿

日時/令和7年9月20日(土)~21日(日)  
場所/ホテルクラウンパレス北九州(北九州市八幡西区東曲町3-1)  
参加者/1年次生 30名



9月20日・21日に産業医・産業医経験教員との合宿をホテルクラウンパレス北九州にて実施しました。午前中に行われた学生支援GPフォーラムにご出席いただいた上田学長及び11名の卒業生産業医の先生方にもご参加いただき、卒業生産業医3名の先生にご講演頂きました。また、産業医像についてラウンドテーブルディスカッションでグループに分かれ、意見をまとめ、発表しました。

### 参加した学生の感想

- ・今回の合宿はこれからのライフステージを考える上で大学一年生である今の私が何をすべきで、何をしたいのかを考える機会となった。将来の人生設計をして今の時間を無駄にしないようにしたい。そのためまずは普段の生活でタイムマネジメントをしっかりと実践できるようにしたい。
- ・先輩方のご自分の仕事について語るときも楽しく生き生きとしており、各々の産業医としての仕事に誇りを持たれているのだと感じました。

### 卒業生産業医

- ・宮本 俊明 先生(日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 統括産業医(若津地区統括))
- ・吉川 里江 先生(九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部 人材活性化本部 健康推進グループ 統括産業医 本店産業医)
- ・櫻木 園子 先生(一般社団法人京都工場保健会 産業保健推進部医療部長)
- ・真鍋 憲幸 先生(三菱ケミカルグループ株式会社 人事本部 全社統括産業医)
- ・大里 厚 先生(セイコーエプソン株式会社 日野事業所 専属産業医 統括産業医補佐)
- ・大津 真弓 先生(合同会社ひまわり 代表)
- ・垣内 紀亮 先生(ダイハツ工業株式会社 コーポレート統括本部 安全健康推進室 保健センター 統括指導産業医)
- ・清本 芳史 先生(株式会社リコー本社 健康支援室 統括産業医)
- ・西 賢一郎 先生(ジャトコ株式会社 人事部門付 統括産業医)
- ・守田 祐作 先生(日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 安全環境防災部 鹿島安全健康室 上席主幹)
- ・高橋 宏典 先生(住友ゴム工業株式会社 人事総務本部 人事部 健康管理室 統括産業医)

### スケジュール

20日(土)	13:15	大学出発
	13:40	ホテルクラウンパレス北九州到着、事務連絡
	14:00	開始挨拶 ▷佐藤 学生部長・一瀬 進路指導副部長
	14:40	学長ご挨拶 産業医先生方及び学生自己紹介
	14:50	進路指導副部長講演 ▷一瀬 豊日 先生
	15:15	卒業生産業医講演 ▷大津 真弓 先生
	15:40	卒業生産業医講演 ▷真鍋 憲幸 先生
	16:10	ラウンドテーブルディスカッションⅠ テーマ: 学生が思い描く産業医像について 卒業生産業医講演 ▷清本 芳史 先生
	16:30	ラウンドテーブルディスカッションⅡ
	16:55	テーマ: 将来の産業医像について
	18:00	夕食
	19:00	意見交換会
	20:00	交流会(22時頃まで)
21日(日)	7:30	朝食
	8:30	まとめ▷佐藤 学生部長・一瀬 進路指導副部長 閉会挨拶 ▷上田学長
	9:30	ホテルクラウンパレス北九州 出発
	10:00	大学到着・解散

## 一日産業生態科学研究所(産業医学臨床センター)訪問

日時/令和8年2月6日(金)  
場所/産業生態科学研究所、産業医学臨床センター、人工気候室、無響室  
参加者/1年次生 19名



2月6日(金)に産業生態科学研究所を訪問する「一日産業生態科学研究所訪問」を実施しました。医学部1年次生に、産業生態科学研究所のことを知ってもらう機会となることを目的として企画されました。

### 参加した学生の感想

- ・自身の将来のキャリアの選択肢が広がったことを感じるとともに、独自性を持った強みをより活かしていくという点において、どれかひとつのみならず何かしら掛け合わせていく必要性を感じた。その掛け合わせる例を先生方のお話や見学を通して知ることができ、大変貴重な機会になった。
- ・産業医の役割は単に設備や物品を整えることではなく、働く人の健康を守るために正しい知識と行動を根付かせることにありと理解した。私は今回の訪問を通して、産業医の必要性和社会的意義を強く実感した。

### スケジュール

時間	内容	担当教員	場所
8:50	集合		学生課
9:00~10:00	オリエンテーション キャリアについての講義	江口先生(産業精神保健学) 五十嵐先生(産業医実務研修センター) 西田先生(労働衛生工学)	産業医学 臨床センター
10:00~12:00	産業医学臨床センター説明(30分) 局排を使った実習(90分)	川波先生、柴田先生 (産業医実務研修センター)	産業医学 臨床センター
12:00~13:00	実習①	永野先生、森先生(産業保健管理学)	人工気候室、無響室
13:00~14:00		昼休み	
14:00~14:30	キャリアについての講義	藤澤先生(講義)、李先生[実習]	東棟4階 会議室
14:30~15:30	実習②(1グループ10人で 2グループ: AB班とCD班)	(職業性腫瘍学)	職業性腫瘍学/ 呼吸病態学
15:30~16:30	PPT作成(1グループ5人で 4グループ: A~D班)	友永先生(呼吸病態学)	
16:30~17:00	発表(1グループ5分×4グループ : A~D班)	江口先生(産業精神保健学)	東棟4階 会議室

## 産業医オフィス訪問

日時/令和8年2月3日(火)、令和8年2月6日(金)  
訪問先/ダイハツグループ九州開発センター(福岡県久留米市)  
TOTO小倉第一工場ウエルカムセンター(北九州市小倉北区)  
参加者/1年次生 23名



### 参加した学生の感想

- ・産業医になったとき、自分が目指すべき形を、実際の仕組みだけでなく人の意識に至るまでを一つとして、具体的に感じられたと思います。
- ・産業医の先生が実際に企業の中で他の社員の方々と接していられる姿を拝見して、産業医という存在の大きさや産業保健活動の重要性を実感しました。

2月3日(火)及び2月6日(金)に、卒業生が産業医として勤務している企業のオフィスを視学する「産業医オフィス訪問」を実施しました。2月3日に久留米市のダイハツグループ九州開発センターを訪問し、2月6日に小倉北区のTOTO小倉第一工場ウエルカムセンターを訪問しました。産業医の業務や工場を見学し、産業医としての働き方がイメージできる貴重な体験となりました。

# 仕事力×キャリア・オリエンテーション

## 学生によるクリニカル・シミュレーション・ラボ活用術

日時/令和8年2月24日(火)13:00~15:00

実施内容/静脈採血、静脈路確保

場所/病院南別館4階 B室

参加者/1年次生6名、2年次生3名、3年次生6名

2月24日(火)に静脈採血、静脈路確保の2手技を医学教育担当教員山本先生にご指導していただきました。臨床実習用モデルの人物を相手に、熱心に何度も練習をしていました。学生にとって、大変有意義な講座となり、卒業後も今回の経験が生かされると思います。

### 参加した学生の感想

- ・このような手技を実際に行い、患者さんに実際に行う日が来るように勉強も頑張りたい。
- ・分かりやすく採血と点滴の手技を教えてください、習得できた。



# 人間力×キャリア・ベーシックス

## 学生・教員交流会(夕食付)

日時/令和7年5月14日(水)18:00~19:00

場所/大学本館3号館 学生食堂

参加者/1年次生103名、医学部先輩学生45名、教員等47名

5月14日(水)に、学生・教員交流会(夕食付)を実施しました。この交流会は、新入生が学長をはじめ指導教員や若手の臨床教員、先輩学生とともに食事をしながら語り合い、学生のコミュニケーション能力の育成を図りつつ、早く大学での生活に馴染む事を目的としております。

新入生たちは、学生生活や勉強方法、卒業後進路などについて、教員や先輩達に積極的に質問していました。



### 参加した学生の感想

- ・学年が上がってから授業を持ってもらう先生とお話ができたり、学校や教授、先輩などからのさまざまなお話が聞ける貴重な機会でした。
- ・経験豊富な先生方と話せて視野が広がった。

## 医学部1年生と教員、産業医経験教員との談話会

日時/令和7年6月16日~6月30日(全10回)12:50~13:30

場所/大学本館1号館 1401会議室、1848B会議室、ラマツイーニホール 第1会議室

参加者/1年次生105名

6月16日(月)~6月30日(月)の期間に10回に分けて「医学部1年生と教員、産業医経験教員との談話会」を実施しました。

産業医経験のある先生方から産業医の仕事についての貴重なお話をいただきました。また、1年生からの質問にも丁寧にお答えいただき、大変参考になりました。



### 参加した学生の感想

- ・産業医としての話以外にもこの卒業生としての話を多く聞いて、卒後のビジョンとしてのひとつの形を見ることができた。
- ・産業医を経験した方とお話しできる機会はとても貴重だと感じ、進路選択に活かしたいと感じた。

## 卒業生による講演会

日時/令和7年6月12日(木)17:40~18:40

場所/大学本館2号館2階 2201講義室、2208講義室 参加者/1年次生96名

講師/産業精神保健学 日野 亜弥子 先生

「医師のキャリアは病院だけじゃない!~産業医・大学教員のキャリアパス~」

泌尿器科学 木室 里依子 先生

「卒業後11年(産業医2年と臨床医9年)の軌跡」

6月12日(木)に「卒業生による講演会」を開催しました。2つの講義室に分かれ、学内に在籍の卒業生の先生方に学生時代の話や、産業医及び臨床医として経験された貴重なお話をいただき、卒業後の進路について具体的なイメージがもてる機会となりました。



### 参加した学生の感想

- ・結婚や育児などと、キャリア形成の両立ができている先生のお話を聞いてよかったです。
- ・医師だけに言えることではないが、労働者の環境を良くすることは、まだ現代において解決していかなければいけない課題だと感じた。



## 第11回ブロック別 医学部教員・保護者懇談会

日時/令和7年7月19日(土)13:00~16:30

場所/ラマツイーニホール 大ホール

参加者/会場参加者88名・WEB参加115件(ハイブリッド開催)

### プログラム

- ・開会
- ・学長挨拶.....上田 陽一 学長
- ・学生支援の現状.....佐藤 寛晃 学生部長
- ・医学教育の現状.....遠藤 元誉 教務部長
- ・学生相談の現状と問題.....江口 尚 学生相談室相談員
- ・卒業後進路に関して.....一瀬 豊日 進路指導副部長
- ・卒業生講演①.....黒木 直美 産業医
- ・卒業生講演②.....北田 昇平 産業医
- ・質疑
- ・閉会

7月19日(土)に、第11回ブロック別医学部教員・保護者懇談会を本学ラマツイーニホールにおいてハイブリッド開催しました。

卒業生産業医の黒木 直美先生(トヨタ自動車九州株式会社・産業医)、北田 昇平先生(花王株式会社・全社産業医)にご講演いただき、懇談会終了後には情報交換会も行われ、活発な意見交換会がなされていました。



### 参加した保護者の感想

- ・産業医大卒業生の先生方の実例を拝聴できて、とても参考になりました。サポート体制が充実していることがわかり安心いたしました。
- ・産業医の先生方のお話で、妊娠や出産などでのキャリアの中断があっても、いろんな選択肢があるということと、その都度相談できる場所があると知れてとてもよかったです。
- ・大学及び卒業生から学生生活、進路等の様々な情報を提供頂き、大変有意義でした。

## 留学経験教員との談話会

日時/令和7年11月10日(月)17:45~19:00

場所/ラマツイーニホール 第1会議室

講師/荻野 学芳 先生(第3内科学) 石丸 知宏 先生(医学概論)

参加者/医学部学生8名

11月10日(月)に「留学経験教員との談話会」を実施しました。

医学概論 石丸先生の進行のもと、アメリカエール大学に留学経験のある荻野先生から、体験談等の貴重なお話をいただきました。



### 参加した学生の感想

- ・貴重なお時間をありがとうございました。留学のことがたくさん知られて、具体的なイメージも持て有意義な時間を過ごさせて頂きました。何より先生が楽しそうに話されていて、僕も留学したいなとより強く思えました。

## 学生支援教員研修会(FD)

日時/令和7年12月18日(木)17:30~18:30 ハイブリッド開催

場所/本学1号館 1103講義室

参加者/教職員51名(対面11名、オンライン40名)

12月18日(木)に教職員を対象とした教員研修会(FD)をハイブリッド開催しました。

福岡県警察折尾警察署 生活安全課 警部補を講師としてお迎えし、「大学生がSNS被害・薬物乱用に巻き込まれる実態」というテーマでご講演をしていただきました。

昨今、学生が犯罪に巻き込まれる具体的な実態を知る良い機会となる講演でした。



### 参加した教職員の感想

- ・あまり関わる機会のないアンダーグラウンドを知ることができた。使い始めるきっかけに気をつけるよう十分教育することが重要と感じた。
- ・最近では学生がこのような犯罪に巻き込まれるとテレビで良く耳にします。折尾管内や福岡県の身近な情報が参考になりました。

# 人間力×キャリア・ベーシックス

## アクティブラーニングの実践(若者人権講座)

日 時/令和8年1月9日(金)15:45~17:00  
場 所/大学本館2号館 2305講義室 講 師/松本 義和氏  
テーマ/エンジョイライフ~楽しく生きなきや損!~  
参加者/1年次生 99名



### 参加した学生の感想

- ・失ったものを数えるな、残ったものを活かせという言葉がすごく今の自分にピッタリの言葉で大切なことに気づけました。
- ・目が見えないにも関わらず、それを障害として捉えるのではなく、それを生かそうとする気持ちがすごいいました。五体満足で今日まで過ごせていることは当たり前でないことを改めて感じることが出来ました。

1月9日(金)に、パラアスリート(柔道)の松本 義和氏をお招きし、視覚障害者としていかに障害を克服してこられたかをご講演いただきました。

# 発信力×キャリア・コミュニケーション

## 図書館の文献検索講習

日 時/令和7年5月21日(水)15:40~17:30  
場 所/大学6号館2階コンピュータ実習室 参加者/1年次生 105名

5月21日(水)に、医学部1年次生を対象に図書館の文献検索講習を開催しました。この企画は図書館の文献検索機能を理解してもらうことにより、自主学習のモチベーションを高めることを目的としています。

### 参加した学生の感想

- ・文献検索の方法を学ぶ貴重な機会であり、とても身になる内容でした。
- ・詳細検索のやり方を詳しく知ることができてよかったです。



## 図書館所蔵の産業医学関連図書の紹介(ライブラリー カフェ)

日 時/令和7年6月4日(水)・5日(木)12:50~13:20  
場 所/大学本館2号館 図書館 参加者/1年次生 26名

6月4日及び5日に、医学部1年次生を対象に図書館所蔵の産業医学関連図書の紹介(ライブラリーカフェ)を開催しました。

図書館長から、図書館や産業医学関連図書について説明を聞き、産業医学へのモチベーションを高めるとともに、図書館を有効活用できるようになることを目的としています。



### 参加した学生の感想

- ・図書館に入ったことはあったのですが二層があることを知らなかったり、新しいことが知れたのでよかったです。今後積極的に利用したいです!図書紹介リストに受験の時に読んだ本があり懐かしくなりました。
- ・「働く人の病」という本の概要などの説明を通して産業医学関連の書籍について興味を持って。

## 第57回産業医学推進研究会 九州地方会

日 時/令和7年10月11日(土)13:30~17:00  
場 所/ラマツィーニホール 大ホール  
参加者/1年次生 20名

10月11日(土)に、産業医学推進研究会九州地方会様のご協力により、医学部1年次生20名が、第57回産業医学推進研究会九州地方会に参加しました。第43回産業医科大学学会との共同開催であり、1年次生にとって初めての学会参加で、大変貴重な経験となりました。

### プログラム

産推研九州地方会企画/産推研九州地方会主催特別講演  
産業医科大学学会主催/教育講演  
共同企画シンポジウム



### 参加した学生の感想

- ・産業医にも幅広い倫理観と高いコミュニケーション力が求められることを学んだ。また、世界と比較した日本の医学教育の課題を知り、自ら実践的に学ぶ姿勢の大切さを感じた。シンポジウムでは、医師や保健師、企業など多様な立場から教育の在り方が議論され、産業保健は多職種連携によって支えられていることを理解した。今後は学びを通して、働く人々の健康を守る医師としての視野を広げていきたい。

## 第37回産業医学推進研究会 全国大会

日 時/令和7年10月18日(土)13:00~  
場 所/東京都立産業貿易センター 台東館  
テーマ/「学ぶ×動く×つながる∞産推研」  
参加者/1年次生 5名

10月18日(土)に、産業医学推進研究会全国大会様のご協力により、医学部1年次生5名が、第37回産業医学推進研究会全国大会に参加しました。今年度は東京都立産業貿易センター台東館で開催され、参加した1年次生にとって大変貴重な経験となりました。さらに、学会参加後に実施された懇親会にも参加し、卒業生の先生方と交流を深めることができました。



### 参加した学生の感想

- ・体力測定や運動プログラムでは、単に体を動かすだけでなく、自分の理想と現実の運動能力との差を知ることで、労働者に自分の健康管理や安全意識を高めるきっかけになることを理解した。また、グループワークでは様々な職種で働く産業医の先輩方から、職場ごとに異なる健康課題や現場に合わせた転倒対策の工夫を伺い、実践力や柔軟な発想の大切さ、産業保健の幅広さを実感した。今回の学びを通じて、将来産業保健の分野でどのように貢献できるかをより具体的に考えるきっかけとなった。

## 編集後記にかえて

### 「将来のキャリア形成学生支援」 3年間を振り返って

本学には卒業後、医師として産業医学分野において活躍するためのさまざまなコースがあります。しかし、低学年の学生が卒業生医師と接する機会は少なく、学生時代に卒業後のキャリアパス(目標の医師像)を具体的に立てづらいことが問題となっておりました。そこで、令和5年4月より学生支援プログラム「将来のキャリア形成学生支援」を開始いたしました。本プログラムでは、産業医学のみならず、臨床医学や研究などにも接して①低学年の段階から卒業生医師がどのような活躍をしているのかを詳しく知る機会を設ける、②卒業後に産業医、臨床医、研究医としてどのようにキャリアアップしていくのかを具体的にイメージできるようにする、③将来医師として必要なスキルを身に付ける、ことを目標に掲げて、事業所訪問、研究所体験、卒業生医師との交流、学会参加、スキルアッププログラムなどさまざまな内容を盛り込んでまいりました。いずれのプログラムも、参加した学生からは好意的な感想をいただくことができました。本プログラムは3年間で一区切りですが、今後も学生が関心を持てるような内容にブラッシュアップして、大学生時代の思い出に残るようなプログラムとして継続してまいりたいと考えております。引き続きご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



学生部長  
佐藤 寛晃

## 医師祭医療部「健康測定」

日 時/令和7年11月1日(土)~3日(月・祝)  
場 所/屋内温水プール棟1階  
主 催/第45回産業医科大学医師祭 医療部

11月1日(土)~3日(月・祝)にかけて第45回産業医科大学医師祭「蒼天祭」が開催され、医療部企画「健康体力測定」を実施しました。骨密度、アスリート度、肌年齢等の測定を来場者の方々に体験してもらい、自分自身の健康について再認識するきっかけ作りができました。令和7年度「将来のキャリア形成学生支援」事業より、機器レンタル料等を助成しました。



## 医師祭医療部「医学講演」

日 時/令和7年11月3日(月・祝)  
場 所/ラマツィーニホール 大ホール  
主 催/第45回産業医科大学医師祭 医療部

医師祭最終日の11月3日(月・祝)に、医療部企画「医学講演」として、ドラゴン細井として有名な細井 龍医師をお招きしてご講演いただき、大盛況でした。



COMPASS 2026  
March



産業医科大学 学生課

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
TEL/093-691-7211

発行: 2026年3月